

環境経営レポート

2022 年度

(対象期間：2022 年 10 月～2023 年 9 月)



作成日：2023 年 12 月 26 日

ユナイト福岡株式会社

目次

1. 環境経営方針
2. 組織の概要
3. エコアクション 21 実施体制
4. 施設の状況
5. 処理工程図
6. 処理実績
7. 環境経営目標
8. 環境経営計画
9. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果、並びに違反、
訴訟等の有無
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

経営理念

当社は、「廃棄物の収集・運搬及び中間処理の事業、解体工業を通じ、資源のリサイクルで循環型社会の形成に貢献」を理念に、以下に環境経営方針を定め社員一同がその実現に努めます。

環境経営方針

1. 環境関連の法規、条例等及び当社が設定した取決め事項を遵守します。
2. 廃棄物の収集・運搬、中間処理及び解体工事業における二酸化炭素排出量の削減など環境負荷低減に努めます。
3. 事業に伴い取扱う廃棄物の再資源化に努めます。
4. 働く人の作業環境整備、及び事故防止に努めます。
5. 地域社会との共存、共栄を目指し、環境に配慮した社会貢献活動に努めます。
6. 定期的な環境経営システムの見直しにより継続的な改善を図ります。

制定日:2021 年 10 月 1 日
ユナイト福岡株式会社
代表取締役 川原幸弘

2. 組織の概要

■事業者氏名及び代表者

ユナイト福岡株式会社
代表取締役 川原幸弘

■所在地(本社/処分場)

〒 811-3203
福岡県福津市本木 2220 番地の 1

■環境管理責任者氏名及び連絡先担当者

環境管理責任者：湊上 康弘
連絡先担当者：三浦 栄美
TEL：0940-38-5580
FAX：0940-38-5581
Eメールアドレス：unitfukuoka_k@cd6.so-net.ne.jp

■主な事業内容

- 産業廃棄物の収集・運搬及び産業廃棄物の処分業(中間処理)
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 解体工事業

■法人設立年月日 平成23年4月1日

■事業規模 資本金 : 3,00 万円
 売上高 : 331 百万円(2022 年度)
 従業員数 : 20 名
 事業所延べ面積 : 650 m²

■事業年度 10月～翌年9月

■エコアクション21 認証登録範囲

- 弊社全組織、全活動
- ・業 種：産業廃棄物の収集・運搬及び産業廃棄物の処分業(中間処理)
解体工事業
 - ・対象場所：本社・工場

■事業許可の内容

・産業廃棄物／特別管理産業廃棄物の収集運搬業

都道府県	積 替 え 保 管	許 可 区 分	許可の 年月日 許可の有効期限	許可番号	許可の種類															
					燃え殻	汚泥 s	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス陶器類	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	廃石綿類
福岡	無	産廃	R4.1.12 R9.1.11	040001 63917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	無	特管	R4.6.9 R9.6.8	040501 63917	○	○	○	○	○						○				○	
佐賀	無	産廃	R4.2.23 R9.2.22	041011 63917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	無	特管	R4.8.24 R9.8.23	041511 63917	○	○	○	○	○						○				○	
大分	無	産廃	R3.5.11 R8.5.10	044071 63917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
山口	無	産廃	R1.7.28 R6.7.27	035001 63917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
熊本	無	産廃	R4.6.16 R9.6.14	043051 63917	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

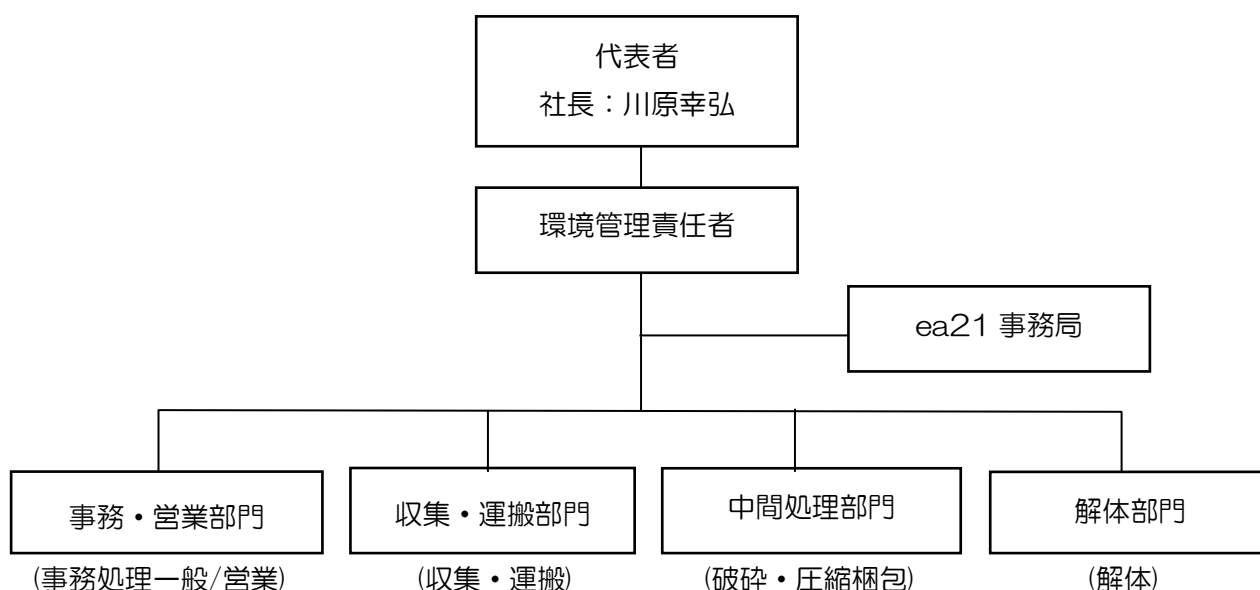
・産業廃棄物処分量

	許可年月日 有効期限年月日	許可番号		
福岡県	令和 4 年 11 月 9 日 令和 9 年 11 月 8 日	04020163917		
施設区分	取扱品目	設置場所	設置年月日	処理能力
破碎	廃プラスチック類、ガラスくず等(以上 2 品目については自動車等破碎物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類	福岡県福津市 本木字山内 2220番地1	平成 26 年 5月12日	・廃プラスチック類: 1.86t/日(8時間) ・紙くず: 1.73t/日(8時間) ・木くず: 2.49t/日(8時間) ・繊維くず: 0.67t/日(8時間) ・ゴムくず: 2.45t/日(8時間) ・ガラスくず等: 2.96t/日(8時間) ・がれき類: 2.90t/日(8時間)
圧縮梱包	廃プラスチック類(自動車等破碎物を除き、軟質系に限る)、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破碎物を除く)ガラスくず等(廃グラスウール及び廃ロックウールに限る。)			

・建設業許可

	許可年月日 有効期限年月日	許可番号	種類
福岡県	令和 3 年 10 月 22 日 令和 8 年 10 月 21 日	許可(般-3) 第 114655 号	土木工事業 とび・土工工事業 解体工事業

3. エコアクション21 実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
社 長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用等の資源を準備 - 環境経営方針を作成・見直し、従業員への周知 - 環境経営目標、環境経営計画を承認 - 代表者による全体の評価と見直し実施 - 環境経営レポートの承認 - 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	- ea21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績の向上 - 環境への負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施 - 環境経営活動の実績集計 - 教育訓練の実施、緊急事態訓練計画の立案と実施提案 - 環境関連法規等の取りまとめと遵守確認 - 環境経営目標、環境経営計画案の作成 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの作成 - 審査の窓口 - 文書、記録の保管
部門責任者	- 環境経営方針、環境経営計画を部門全員に周知 - 問題点の発見、是正、予防処置の実施 - 緊急時の対応のための手順書作成 - 環境経営計画の実施及び達成状況の報告
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 施設の状況

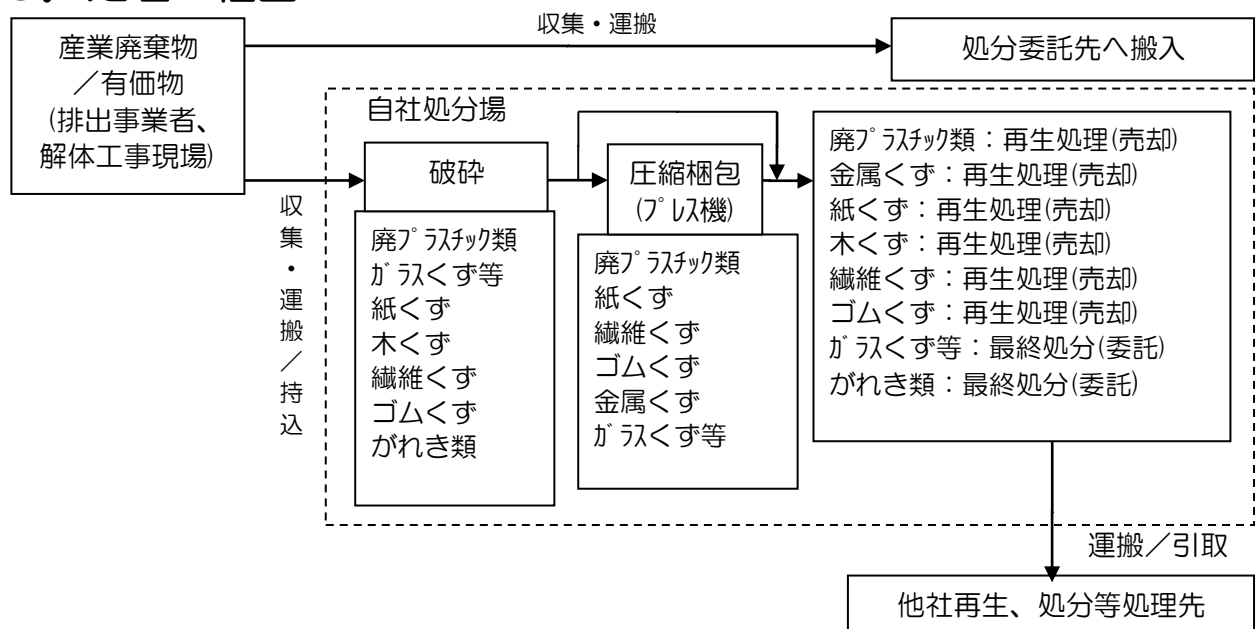
4.1 車両及び施設

種 類	仕 様	台数	種 類	仕 様	台数
収集・ 運搬車両	4 t クラム車	1 台	フォークリフト	2t	1 台
	4 t アームロール車	3 台		2.5t	1 台
	2 t アームロール車	1 台		3.5t	1 台
	2 t トラック(エック)	2 台	パワーショベル	0.1、0.25、0.45	4 台
	ハイエース	1 台	破碎機	----	1 台
	軽バン	2 台	圧縮梱包機	----	1 台

4.2 処理する物品の種類及び施設の種類、処理能力

上記 2 の産業廃棄物処分業の項に、廃棄物の種類とかかる施設及び処理能力を表しています。

5. 処理工程図



6. 処理実績

産業廃棄物処理量

収集運搬量	16,293t
中間処理量	16,748t
最終処分量	563t

7. 環境経営目標

エコアクション 21 に基づく環境経営システムを構築し、以下の環境経営目標を定め達成に向けた活動に取り組んでいます。

目標項目	単位	基準年度	年度目標			
		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	304,826	301,777 (1.0%削減)	298,729 (2.0%削減)	295,681 (3.0%削減)	
	電力使用量の削減	kWh	74,053	73,312 (1.0%削減)	72,572 (2.0%削減)	71,831 (3.0%削減)
	軽油使用量の削減	L	94,700	93,753 (1.0%削減)	92,806 (2.0%削減)	91,859 (3.0%削減)
	ガソリン使用量の削減	L	10,788	10,680 (1.0%削減)	10,572 (2.0%削減)	10,464 (3.0%削減)
2.廃棄物排出量の削減 (受入廃棄物の再資源化率向上)	%	79.9	80.7 (1.0%向上)	81.5 (2.0%向上)	82.3 (3.0%向上)	
3.水使用量の削減 (節水活動の実施)	m³	240.0	237.6 (1.0%削減)	235.2 (2.0%削減)	232.8 (3.0%削減)	
4.地域貢献活動の推進 (会社周辺道路等の清掃活動実施)	回/年	----	12 回	12 回	12 回	
5. 安全安心の 職場づくり (労災ゼロ推進)	件	----	----	0	0	

- ・購入電力の排出係数は、九州電力公表 2020 年度調整後排出係数値 0.479 (kg-CO₂/kWh)
- ・受入廃棄物の再資源化率(%)：再資源化量(t)/中間処理量(t)×100
- ・次の項目については、目標設定から外した。
 - …化学物質は使用していない。
 - …一般廃棄物は少量であり、節紙に気を配っていること。 による。
- ・5項の「安全安心の職場づくり」を追加。(2022 年度より適用)

8. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取 組 項 目		活 動 項 目	
1	電力使用量の削減	1	エアコン設定温度(夏季:28±1 度/冬季:20±1 度)を決め、実行する
		2	エアコンは定期的にフィルターの清掃をする
		3	稼働時以外は照明、換気扇をこまめに消す
		4	OA 機器の省電力設定
		5	動力機器等は使用しない時間帯は電源を切る
2	燃料使用量の削減 (軽油、ガソリン)	1	積み込み時のアイドリング設定実施
		2	急発進、急ブレーキの抑制
		3	タイヤの空気圧チェック
		4	2000 回転以内の早めのシフトアップ
		5	信号などでの停止時のアクセル抑制(惰性運転)
		6	事前ミーティングによる走行ルート効率化
		7	日常点検、定期点検の実施
		8	各車両の走行距離、使用燃料の管理

(2) 廃棄物排出量の削減

取 組 項 目		活 動 項 目	
1	受入廃棄物の再資源 化率向上	1	産業廃棄物の分別徹底による廃棄物削減
		2	廃棄物の物性確認による廃棄物発生の抑制
		3	リサイクルできる業者の把握と優先使用

(3) 水使用量の削減

取 組 項 目		活 動 項 目	
1	節水活動の実施	1	手洗い時、洗車時の流水調整
		2	各水道、トイレに節水の文字貼付
		3	適量な洗剤量ですすぎ水の節約実施

(4) 地域貢献活動の推進

取 組 項 目		活 動 項 目	
1	会社周辺道路等の清掃活動実施 1 回/月実施	1	場所、活動日、メンバーを決め実施

(5) 安全安心の職場づくり

取 組 項 目		活 動 項 目	
1	労働災害ゼロ	1	収集運搬における事故防止
		2	交通安全講習
		3	石膏ボードの処理法の手順化

9. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

9.1 環境経営目標の達成状況

環 境 経 営 目 標	単 位	2022 年度 目 標	2022 年度 実 績	目標達成の 達成率	達成状況
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg- CO2	298,729	304,788	98.0%	△
電力使用量の削減	kWh	72,572	66,384	109.3%	○
軽油使用量の削減	L	92,806	94,050	98.7%	△
ガソリン使用量の削減	L	10,572	13,000	81.3%	×
2. 廃棄物排出量の削減 (受入廃棄物の 再資源化率向上)	%	81.5	89.5	109.8%	○
3. 水使用量の削減 (節水活動の実施)	m³	235.2	219	107.4%	○
4. 地域貢献活動の推進 (会社周辺の清掃活動実施)	回	12 回/年	13	108.3%	○
5. 安全安心の職場づくり (労働災害ゼロ)	件	0	0	100.0%	○

達成状況：100%以上—○ 95%以上—△ 95%未満—×

9.2 環境経営計画の取組状況と評価

取組項目		計画の内容	取組結果	評価内容
1. 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	エアコン設定温度(夏季:28±1度/冬季:20±1度)を決め、実行する	○	電力は目標達成ができました。 ガソリンの使用量は未達成となった。これは営業エリアの拡大により走行距離が増加したものです。
		エアコンは定期的にフィルターの清掃をする	○	
		稼働時以外は照明、換気扇をこまめに消す	○	
		OA機器の省電力設定	○	
		動力機器等は使用しない時間帯は電源を切る	○	
	燃料使用量の削減	積み込み時のアイドリング設定実施	○	
		急発進、急ブレーキの抑制	○	
		タイヤの空気圧チェック	○	
		2000回転以内の早めのシフトアップ	○	
		信号などでの停止時のアクセル抑制	○	
		事前ミーティングによる走行ルート効率化	○	
		日常点検、定期点検の実施	○	
		各車両の走行距離、使用燃料の管理	○	
2. 廃棄物排出量の削減	受入廃棄物の再資源化率向上	産業廃棄物の分別徹底による廃棄物削減	○	分解分別をすることにより再資源化の目標達成ができました。
		廃棄物の物性確認による廃棄物発生の抑制	○	
		リサイクルできる業者の把握と優先使用	○	
3. 水使用量の削減	節水活動の実施	手洗い時、洗車時の流水調整	○	目標達成できました。
		各水道、トイレに節水の文字貼付	○	
		適量の洗剤量ですすぎ水の節約実施	○	
4. 地域貢献活動実施	会社周辺道路等の清掃活動実施	場所、活動日、メンバーを決め実施	○	以前からの清掃活動で定着しています。
5. 安全安心の職場づくり	労働災害ゼロの取組	収集運搬における事故防止	○	安全の意識づけを行っています。
		交通安全講習の実施	○	
		石膏ボードの処理法の手順化	○	

「◎」:実施 「○」:概ね実施 「△」:一部課題有 「×」:未実施

9.3 次年度の取組について

環境経営目標は現中期計画通り基準年比3%削減で取り組んでいきます。また環境経営計画も2022年度からの計画を継続していきます。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果、並びに違反訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

【環境関連法規等の遵守状況の主な確認結果】

法規等名	遵守事項	当社の遵守内容	遵守状況 確認・結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	産業廃棄物処分、収集・運搬業許可	業許可証の維持	○
	産業廃棄物の飛散防止の表示等	飛散防止養生実施、規定の看板設置	○
	産業廃棄物収集運搬車の表示等	運搬車の車体表示を行い、車輛に書面(管理票、許可証の北側-)を備え付け	○
	収集運搬の許可区域	許可区域内で実施	○
	管理表の適正管理	返却、5年以上保管	○
家電リサイクル	リサイクル推進	該当がある場合は適正処理	○
自動車リサイクル法	同上	同上	○
消防法	危険物(軽油等)の保管限度量	給油時、点検実施(届出基準限度内)	○

「○」: 実施 「×」: 未実施

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1) 評価

- ① 環境への配慮として、会社周辺の道路の凹部の補修や側溝の清掃などを行ったことにより、雨水の流れがよくなり衛生面、安全面で効果があったものと考えています。今後も地域住民の方々とのコミュニケーションをとり、環境美化に積極的に取り組んでいきます。
- ② 活動目標は、化石燃料使用量を除いては目標達成ができました。使用量増加の理由は営業エリアが広範囲となり走行距離が増えたことによるものです。今後は営業車の入替時はEV車の採用を検討していきます。

2) 指示

- ① 廃棄物の安全を考慮した分解分別方法の検討を継続していき、合わせて環境保全及び効率的な運搬の方策を検討していきます。
- ② 技能教育育成として、運搬業務従事者の多能工の育成をしていき、個人での完結可能な人材の育成をしていきます。